

20年6月16日
大阪ウォーターフロント開発(株)広報課
〒552-0022 大阪市港区海岸通1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当:松原、齋部、西村、田井、鈴木)

海遊館の迫力と感動がスケールアップ

7年ぶりのジンベエザメ 2匹展示を開始しました!

世界で唯一 複数のジンベエザメ、マンタ、イトマキエイを同時展示

大阪市港区の海遊館では、平成20年6月14日(土)より、オスのジンベエザメ(全長約4m50cm¹、推定体重1t、推定年齢6~7歳)の海遊館への輸送を行っていましたが、6月15日(日)17時38分に無事「太平洋」水槽へ搬入し、同日より約7年ぶりにジンベエザメの2匹展示を開始しました。これにより海遊館の「太平洋」水槽では、ジンベエザメの「海くん」(全長4.23m²、推定体重1t、推定年齢6~7歳)と共に悠々と泳ぐ姿だけでなく、世界中の水族館で唯一の展示のイトマキエイ(6月2日資料提供済み)、エイの仲間の最大種であるオニイトマキエイ(マンタ)など、多くの生き物の雄大な姿を同時ご覧いただけることになり、世界有数の規模と展示内容をもって、より多くの感動と神秘を体感していただけます。

1 平成20年6月15日計測 2 平成19年11月1日計測

新たに海遊館に搬入したジンベエザメは、昨年9月13日に高知県幡多郡大月町安満地沖の定置網に入網し、同月15日に以布利センターに搬入したのち、飼育していたオスのジンベエザメです。平成20年6月14日(土)20時45分に高知県土佐清水市にある「大阪海遊館 海洋生物研究所以布利センター」を輸送船で出発し、新鮮海水を補充しながら高知県沖を進み、海路約420kmをほぼ丸一日かけて、翌6月15日(日)16時12分に天保山岸壁に到着、同17時38分に海遊館の「太平洋」水槽に無事搬入しました。



「太平洋」水槽で泳ぐ2匹のジンベエザメ

海遊館でのジンベエザメの2匹展示は、過去に3回行っており、平成13年9月以来、約7年ぶりに復活しました。

海遊館では、今回搬入したジンベエザメが「海くん」と共に元気に成長し、多くの方々に愛される人気者になってくれることを願っています。また、ジンベエザメの複数展示を通して、未だ謎に包まれたジンベエザメの生態を解明していきたいと考えています。

さらに、世界で初めて餌付けに成功したイトマキエイやオニイトマキエイ(マンタ)などの大型魚や、さまざまなサメやエイ、回遊魚などをご覧いただくことにより、来館者に生き物の素晴らしさと感動を伝え、一人でも多くの人々に、自然環境のすばらしさ、生命の尊さを感じていただければと考えています。



新しく海遊館にやって来たジンベエザメ

今回搬入したオスのジンベエザメの愛称については、今後一般公募し決定する予定です（詳細は追ってお知らせいたします）。

本件は、大阪市政記者クラブ、高知県庁県政記者クラブ、幡多記者クラブに、平成 20 年 6 月 16 日（月）14 時に同時資料提供をおこないます。